

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

宗教学法人カトリック福岡司教区 小倉カトリック幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・円満な家庭を中心にし、その子どもを養育する責任者である保護者を助ける教育をする。
- ・キリスト教精神に基づいて、しつけ、および道徳教育を行う。
- ・年齢に応じた体づくりにより、子どもの将来の豊かな人格を目指す自主・自立の精神を養う。
- ・集団生活を通して、協調性と人々への思いやり、心の豊かさを身に付ける。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
1 保育の在り方	B	職員の人材が不足する中、保育の質を下げることなく、行事等も行うことができた。
2 保育及び教師の資質向上	B	職員の手が足りず研修への参加が困難であった。保育の進め方など職員間で話し合う機会を設けながら、取り組むよう努めた。
3 安全危機管理	C	各クラスでの避難訓練、災害時の訓練指導は行ったものの、全体での訓練回数が少なく、保護者に不安を与えた。園舎入り口の門のオートロックによる安全確認、職員同士のトランシーバーによる連携は、スムーズに行い常に安全危機管理に努めた。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に続き、人材確保が難しく、あらゆる場面で職員の配置に苦慮したが、保育の質を下げない様、職員同士がお互いに補い合うことができた。しかし、それぞれの職員の健康維持管理に細かい配慮が必要だった。</li> <li>・年間の安全危機管理の指導計画は立てたものの子ども達の実践の訓練に繋がらなかった。あらゆる場面を想定した計画を立てる必要があった。職員間の連携をスムーズに行い子ども達を安全に導く為にも、実践の訓練回数を増やし、定期的に行う事が必要であった。</li> <li>・行事は、職員同士が繰り返し話し合いする機会を設け行うことができた。</li> </ul>

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 保育の在り方	早めに保育準備を行い安定した保育を目指すこと
2 教師の資質向上	限られた時間の中、研修の機会を増やすこと、学んだことの共有。
3 安全危機管理	避難・防犯訓練の実践回数を計画建て増やしていくこと

## 6.学校関係者の評価

- 人材不足の中、保育が滞りなく行う事が出来て感謝している。
- 行事等、保護者にもっと手伝いを呼び掛け、職員の負担を減らしたら良いのでは。
- 安心して預けられるよう、防災・防犯訓練の実践回数を増やしてほしい。
- 子ども達が、最後まで諦めず、取り組む姿が多く見られ、成長を感じられて良かった。
- 職場環境での業務の効率化等改善し、人材確保に繋げられるよう努めてほしい
- 安全面に於いて、防犯カメラ・門の施錠・保護者名札等、徹底され防犯に繋がっている。
- 行事の質を上げてほしい。